
何処にでもいる怪僧が行く！(ネギま)

怪人紳士サノブ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

何処にでもいる怪僧が行く！（ネギま）

【Nコード】

N6786Y

【作者名】

怪人紳士サノブ

【あらすじ】

慈しみのある甘い言葉を囁きかけてくる某怪僧の姿を持った青年が今日もどこかで鎌を振り回し、31Aの面々とふれあうハートフルコメディ（になる予定）…… 戦国BASARA3宴をプレイして思い付いた作品 まだネタの段階なので短編にしました

「あつまだつ遊んでつ遊んでください！こ、これが、龍の吐息…！これが…煉獄…！あ、あつ！熱いつ！いいつ！もつと！あつあつもつともつと！あつあつあつあつ！！」

「このアホおつ！！何をやっているんだお前はあつ！！！」

「はあはあ…おやおや、これはこれはエヴァンジェリンではありませんか…何か、私にご用でしょうか？」

「何も用は無いが、それは止めんか！一人で龍に喧嘩売って焼かれて悦ぶなあ！」

「そんなことを言われましても…あ、エヴァさんも一緒にどうですか？」

「断るわあッ！」

「痛いし苦しいしとつても熱いのに…もつたいないですね」

「ホントにお前つて奴は…！」

魔法世界にて

一人の金髪の少女と銀髪の青年がじゃれあっていた

方や先程まで炎の吐息に焼かれていたのにケロリとしており、しかも痛みや苦しみを味わっていたという色々とヤバい性癖を持っていた

もう一人の少女はその身は人にあらず、最強の魔法使いであり何百年もの時を生きる真祖の吸血鬼にして数多の通り名を持っていた

何か持っているものの差に開きがありすぎるが、まあ彼らにはいつものことなのだ

そして残念なことに先程のやりとりもいつものことなのだ

黙っていれば美青年、喋れば残念なイケメン

なんとも嘆かわしいことである

森の中で出会ってしまった自分が憎いとエヴァンジェリンは過去を悲しんでしまった

そもそも出会いは森の中で遺体の山を築き上げていたところというなんとも嫌な出会い

しかも青年はいきなり目撃者のエヴァンジェリンに歩み寄ると

「そこのお方…どうか、私を踏んでくださりませんか…？…ンフフ
フフ」

もう、なんかダメだこいつ…

自分同様の賞金首で、それなりに人を殺めているのにその変態であることのほうが恐れられているのを知った時はいろいろと納得してしまっただけだ

思わずその綺麗な顔を殴って逃げ出した

のに…行く先々で何故か現れるようになってしまった

何故、追いかけるのか

「恥ずかしながら私は貴女に一目惚れしてしまいました…だから私
を踏ん」

やっぱり殴って逃げ出した

従者にチャチャゼロを引き連れるようになってからはさらにエスカ
レートするようになっていたのだから

今回の魔法世界、そして戦争が終えて、エヴァンジェリンがある地

に封印されたあとも

「お前…それはなんだ？」

「これですか？これは錫杖鎌です」

「いやただの鎌」

「錫杖鎌です」

「どうみたってか」

「錫杖鎌です」

「……………」

「錫杖です」

「どこの世界にそんな凶悪な錫杖があるんだ！！」

「……ですが？」

「む、ムカつく…ホントにムカつく…！」

「これからはこの学園にか弱い僧として住みますからね…不束もですが、未長くよろしくお願いします…ンフフフフ」

「あ、悪夢だ……………」

「ところで茶々丸さん、そのおみ足をさわってもよろしいですか？」

「は、はあ…」

「出て行けえーッ！！この変態坊主ー！！」

エヴァンジェリンは頭を抱えて唸り、これから来る奴の息子を利用した呪いの解除が無事に出来るのか…計画をいく通りも練り直すのだった

かつての名を捨てた青年

その名は天海

彼曰く、何処にでもいる怪僧である

彼の存在は子供先生に何をもたらすのか

出来れば彼に何ももたらさないことを祈るばかりである

魔法先生達頑張れ超頑張れ

あなた達の手腕に子供先生の未来がかかっている

「ハア…貴方もどうしていつもここに来るのかな」

「すみませんね、吸血姫との戯れが過ぎたようで追い出されてしまいましたもので…クククク…」

龍宮神社で餡蜜を食べる巫女と怪僧が目撃されたそうなの

(後書き)

川一。川く誰です？サノブなんかこんな物を書かせたのは？

どうも作者の怪人紳士サノブと申すものです

以後お見知りおきを

さて、ネタの状態でさらりと書いて投稿したのですがどうでしょうか？

なんか思い付いてしまって…正に誰得という内容ですね

こちらはネギまバージョンの短編

とりあえず設定としては実際の戦国BASARAの天海御本人ではございません

言動などは正にアレなんですけど違いとしてこの天海は女性大好きド変態野郎です

とりあえず原作から100年くらい前からスタートな感じです

ヒロインは暫定でエヴァンジェリンや龍宮、長瀬、茶々丸とかですかね

こちらはだいたい変態まっしぐらな作品ですのでハートフルコメデイ…になればいいんですがね…ンフッフフ…

これの他に恋姫版とまじこい版を用意しようと思います

そのどれかの反響がよろしければ、もしかしたら作品を連載を開始するかも…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6786y/>

何処にでもいる怪僧が行く！（ネギま）

2011年11月20日18時27分発行